

令和5年度使用教科書選定理由書

【1 選定に係る基本方針】

県立芸術総合高等学校

本校では、目指す学校像「学芸を共に高め合い、芸術文化を担う人材を育成する高校」を策定し、将来の芸術文化の振興と発展に寄与する人材の育成を目指している。

また、「芸術的表現力と共通教科の学力向上を目指す意力の育成」を重点目標として掲げ、芸術分野の専門的な知識・技術の修得及び創造的な表現力と鑑賞能力を高めるとともに、共通教科目における基礎的・基本的な知識や技能をしっかりと定着させ、学んだ知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などの学力を育成するための教育活動を重視している。

さらに、単位制の趣旨を生かし、生徒一人一人の進路希望の実現に向けて、生徒の興味・関心、能力・適性に応ずる多様な学習を展開するとともに、自主的・自発的な学習を促す指導の充実を図っている。

これらを踏まえ、以下の点に配慮しながら教育上有効適切なものを選定する。

- 少子高齢化や高度情報化、グローバル化の進展などの社会の変化に対応する力を育む教育の推進
- 基礎的・基本的な知識や技能、思考力・判断力・表現力などの活用する力を育む教育の推進
- 「読む、話す、聞く、書く」を総合的に行う学習活動を充実させるなど、知的活動やコミュニケーション能力を養う教育の推進
- 教科・科目の共通性と多様性のバランスを重視し、職業観、勤労観を育むキャリア教育の推進
- 地域や社会との交流、自然体験活動、就業体験活動、奉仕体験活動、文化芸術体験活動などの体験活動を充実させるなど、生徒の社会性や豊かな人間性を育む教育の推進
- 我が国や郷土の伝統や文化を受け止め、それを継承・発展させるための能力と態度を育む教育の推進

※ 学習指導要領、学校教育目標、学校や学科の特色、生徒の実態等を踏まえて、学校としてどのような方針をもって教科書選定を行うかを示す。